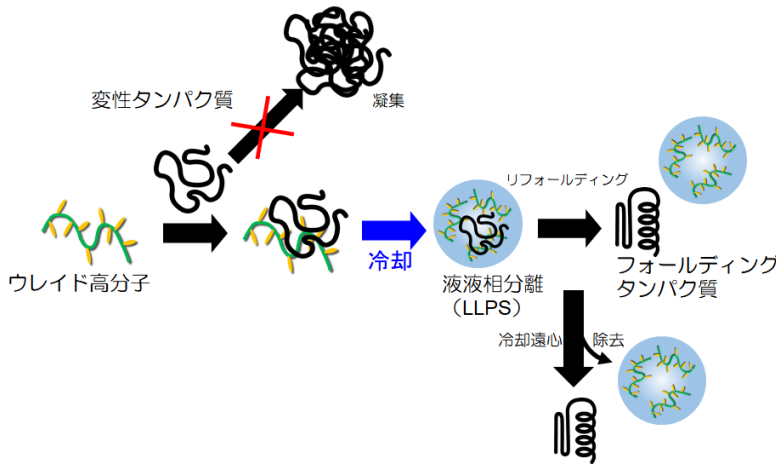


# ウレイド高分子を使ったタンパク質のスマートリフォールディングシステム

## 【技術の概要】

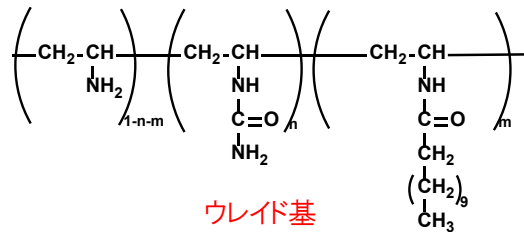
UCST型（高温溶解型）高分子を用いた新規人工シャペロン分子。タンパク質の熱凝集を抑制してタンパク質のリフォールディングが可能で、更に、タンパク質の分離及び精製、又は活性測定を容易に実施することができる。



## 利点

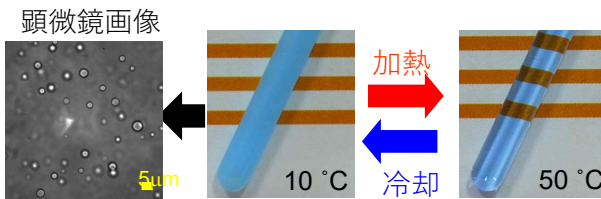
1. 変性タンパク質をストリッパ分子なしにリフォールディング
2. リフォールディング後は冷却遠心にてシャペロン分子を除去可能

## シャペロン機能を持つウレイド高分子



ウレイド基

ラウリル基(アンデシル基)



液-液相分離(LLPS)による相転移現象  
冷却すると沈殿を形成

10 mM HEPES-NaOH (pH 7.5), 150 mM NaCl

## 本技術のアピールポイント

除去が冷却遠心で済み容易である。

## 用途分野

医薬品その他タンパク質の凝集抑制剤

## 特許情報

発明の名称	人工シャペロン分子及びこれを用いたタンパク質の品質管理法
発明者	丸山 厚、嶋田 直彦
出願	2018-089359 (2018.05.07)
公開	2019-196416 (2019.11.14)
特許番号	第7296610号 (登録：2023.06.15)
本学整理番号	17T180



お問い合わせ先：  
東京工業大学 研究・産学連携本部  
E-mail: yasumatsu@sangaku.titech.ac.jp  
TEL: 03-5734-7634 URA 安松 浩